

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場取引所 大

上場会社名 朝日工業株式会社

コード番号 5456 URL <http://www.asahi-kg.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 赤松 清茂

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 中村 紀之

TEL 03-3987-2161

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	31,723	6.5	△248	—	△208	—	△224	—
23年3月期第3四半期	29,773	3.2	△706	—	△701	—	△691	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △339百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △756百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△3,201.54	—
23年3月期第3四半期	△9,881.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	41,219	17,950	43.5	256,433.53
23年3月期	40,733	18,780	46.1	268,285.76

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 17,950百万円 23年3月期 18,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3,000.00	—	4,000.00	7,000.00
24年3月期	—	3,000.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4,000.00	7,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,300	6.8	200	—	200	—	50	—	714.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期の連結業績予想に関する事項については、本日(平成24年2月6日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	72,000 株	23年3月期	72,000 株
24年3月期3Q	2,000 株	23年3月期	2,000 株
24年3月期3Q	70,000 株	23年3月期3Q	70,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績等が異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響が残るものの企業の生産活動は穏やかに回復しました。当社グループの業績に大きな影響を及ぼす建設需要の回復速度は緩やかでありました。

このような状況のもと、当社グループでは一層の営業力強化とコストの低減に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は31,723百万円(前年同期比6.5%増)、営業損失は248百万円(前年同期は営業損失706百万円)、経常損失は208百万円(前年同期は経常損失701百万円)、四半期純損失は224百万円(前年同期は四半期純損失691百万円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①鉄鋼建設資材事業

建設需要が夏場以降徐々に回復し、販売数量が増加しました。また、製品販売価格と鉄スクラップ価格の値差が増加したことから、第3四半期連結会計期間では前年同期と比べて増収となり、営業利益を計上するに至りました。しかし、第2四半期連結累計期間での業績が影響し、第3四半期連結累計期間では、前回業績予想時の収益に達しませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は21,460百万円(前年同期比10.1%増)、セグメント利益は121百万円(前年同期はセグメント損失269百万円)となりました。

②農業資材事業

肥料事業では、原料販売が減少し前年同期と比べ減収となりましたが、利益面では収益性の高い銘柄の販売が拡大したことから前年同期と比べて増益となりました。

園芸事業では、ホームセンター向けに有機肥料の販売が堅調に推移し、前年同期と比べ増収となりました。

種苗事業では、大玉トマト「アニモ」やハウレンソウなどの受注に注力しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は8,452百万円(前年同期比1.0%増)、セグメント利益は453百万円(前年同期比19.4%増)となりました。

なお、当社は、豊田通商株式会社(本社:愛知県名古屋市、社長:加留部 淳)、龍大食品集团有限公司(中国の大手食品会社、本社:中国山東省萊陽市、董事長:宮 学斌)と、中国において有機および有機化成肥料を製造販売する合弁会社を設立することで合意し、平成23年11月1日に契約の締結をいたしました。

③環境ソリューション事業

放射能分析、海洋環境モニタリング調査、塩害等の土壌調査の受注が増加し、前年同期と比べ増収となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は594百万円(前年同期比8.3%増)、セグメント利益は47百万円(前年同期はセグメント損失103百万円)となりました。

④碎石砕砂・マテリアルリサイクル事業

碎石砕砂事業は、積極的な営業展開による新規顧客の獲得などにより、ほぼ前年同期並みの売上高となりましたが、利益面では設備修繕費用の増加により、前年同期と比べ減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は1,324百万円(前年同期比2.0%減)、セグメント利益は35百万円(前年同期比22.9%減)となりました。

⑤その他

報告セグメント以外の事業業績は、売上高は328百万円(前年同期比7.5%減)、セグメント利益は3百万円(前年同期比22.0%減)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、上記各セグメント別売上高の合計からセグメント間の内部売上高437百万円を差引き、31,723百万円となり、セグメント損益は、上記各セグメント別利益・損失の合計からセグメント間の取引消去額、および管理部門経費など各事業に帰属しない全社費用の合計909百万円を差引き、営業損失248百万円となりました。また、前連結会計年度の第4四半期連結会計期間に報告セグメントの変更をしております。前年同期との比較に関する事項につきましては、変更後のセグメントに組替えた金額と比較しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は18,054百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,049百万円増加いたしました。主な要因といたしましては、営業活動に伴う受取手形及び売掛金1,071百万円、商品及び製品1,098百万円の増加と未収入金（その他）1,101百万円、現金及び預金350百万円の減少等であります。

固定資産は、23,164百万円となり、前連結会計年度末に比べ563百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、有形固定資産377百万円、無形固定資産137百万円の減少等であります。

この結果、資産合計は41,219百万円（前連結会計年度末比486百万円増）となりました。

流動負債は、17,946百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,201百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、支払手形及び買掛金1,541百万円、短期借入金1,310百万円、未払金（その他）256百万円の増加と設備関係未払金（その他）1,256百万円の減少等であります。

固定負債は、5,322百万円となり、前連結会計年度末に比べ885百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、長期借入金495百万円、長期未払金（その他）160百万円、長期設備関係未払金（その他）98百万円の減少等であります。

この結果、負債合計は23,269百万円（前連結会計年度末比1,315百万円増）となりました。

純資産合計は17,950百万円となり、前連結会計年度末に比べ829百万円減少いたしました。主な要因といたしましては、利益剰余金714百万円、その他有価証券評価差額金89百万円の減少等であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末46.1%から43.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年11月7日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、平成24年2月6日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,158,466	1,807,621
受取手形及び売掛金	5,998,600	7,069,738
商品及び製品	5,155,599	6,253,751
原材料及び貯蔵品	1,774,111	1,892,992
その他	1,923,144	1,035,637
貸倒引当金	△5,171	△5,110
流動資産合計	17,004,751	18,054,630
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,058,466	3,961,039
機械装置及び運搬具(純額)	13,152,370	12,901,007
土地	2,608,137	2,618,333
その他(純額)	1,164,374	1,125,855
有形固定資産合計	20,983,349	20,606,235
無形固定資産	943,512	806,181
投資その他の資産	1,801,883	1,752,526
固定資産合計	23,728,746	23,164,943
資産合計	40,733,497	41,219,574
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,437,423	7,979,114
短期借入金	3,085,000	4,395,000
1年内返済予定の長期借入金	1,200,000	1,330,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	33,305	32,200
賞与引当金	277,066	136,532
その他	4,652,434	4,014,044
流動負債合計	15,745,230	17,946,891
固定負債		
社債	240,000	210,000
長期借入金	3,200,000	2,705,000
退職給付引当金	1,100,100	1,023,511
その他	1,668,162	1,383,824
固定負債合計	6,208,262	5,322,336
負債合計	21,953,493	23,269,227

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,190,000	2,190,000
資本剰余金	1,802,000	1,802,000
利益剰余金	14,882,856	14,168,748
自己株式	△293,311	△293,311
株主資本合計	18,581,545	17,867,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,053	61,844
為替換算調整勘定	47,404	21,065
その他の包括利益累計額合計	198,458	82,909
純資産合計	18,780,003	17,950,347
負債純資産合計	40,733,497	41,219,574

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	29,773,762	31,723,547
売上原価	25,394,613	26,773,394
売上総利益	4,379,149	4,950,152
販売費及び一般管理費	5,085,959	5,198,858
営業損失(△)	△706,809	△248,705
営業外収益		
受取利息	585	374
受取配当金	36,144	22,538
持分法による投資利益	63,377	140,737
その他	53,886	52,768
営業外収益合計	153,994	216,419
営業外費用		
支払利息	63,536	83,179
売上割引	64,272	71,056
その他	20,809	22,395
営業外費用合計	148,619	176,631
経常損失(△)	△701,434	△208,918
特別利益		
固定資産売却益	149	—
固定資産受贈益	9,222	—
貸倒引当金戻入額	302	—
特別利益合計	9,674	—
特別損失		
固定資産処分損	280,979	104,543
減損損失	—	23,155
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	73,903	—
その他	—	2,072
特別損失合計	354,883	129,772
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,046,642	△338,690
法人税、住民税及び事業税	30,363	40,307
法人税等調整額	△385,312	△154,890
法人税等合計	△354,948	△114,582
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△691,694	△224,108
四半期純損失(△)	△691,694	△224,108

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△691,694	△224,108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62,665	△89,209
為替換算調整勘定	△1,777	△26,339
その他の包括利益合計	△64,443	△115,548
四半期包括利益	△756,137	△339,656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△756,137	△339,656
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	鉄鋼建設資材 事業	農業資材事業	環境ソリュー ション事業	砕石砕砂事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	19,483,977	8,366,779	507,004	1,178,669	29,536,429	237,332	—	29,773,762
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7	42,295	7,840	50,143	283,235	△333,379	—
計	19,483,977	8,366,786	549,300	1,186,509	29,586,573	520,568	△333,379	29,773,762
セグメント利益 又は損失(△)	△269,477	379,720	△103,264	40,710	47,688	9,568	△764,066	△706,809

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、マテリアルリサイクル事業および業務請負事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△764,066千円には、セグメント間取引消去△3,224千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△760,842千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントなどに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	鉄鋼建設資材 事業	農業資材事業	環境ソリュー ション事業	砕石砕砂・ マテリアルリ サイクル事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	21,460,605	8,452,572	415,117	1,321,630	31,649,926	73,621	—	31,723,547
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	18	179,608	3,219	182,846	255,053	△437,899	—
計	21,460,605	8,452,591	594,726	1,324,850	31,832,772	328,674	△437,899	31,723,547
セグメント利益 又は損失(△)	121,438	453,274	47,436	35,715	657,864	3,061	△909,631	△248,705

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントの業務請負事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△909,631千円には、セグメント間取引消去1,395千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△911,026千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントなどに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度の第4四半期連結会計期間において碎石砕砂事業を進める上武産業株式会社とマテリアルリサイクル事業を進める上武エコ・クリーン株式会社の合併（平成23年3月1日付）に伴い報告セグメントの変更を行っております。変更後の報告セグメントに組替えた前第3四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、次のとおりであります。

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	鉄鋼建設資材 事業	農業資材事業	環境ソリューション事業	碎石砕砂・ マテリアルリ サイクル事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	19,483,977	8,366,779	507,004	1,339,859	29,697,620	76,141	—	29,773,762
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7	42,295	11,764	54,067	279,312	△333,379	—
計	19,483,977	8,366,786	549,300	1,351,623	29,751,687	355,453	△333,379	29,773,762
セグメント利益 又は損失(△)	△269,477	379,720	△103,264	46,352	53,330	3,926	△764,066	△706,809

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントの業務請負事業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△764,066千円には、セグメント間取引消去△3,224千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△760,842千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントなどに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。